

《やさしいにほんごばん》

学習支援部会のサポーターに話を聞く

鶴見ラウンジでは毎月第1、第3土曜日の午前中に小学生の学習支援教室「あおぞら」、毎週月曜日の夜に中学生の「なないろ」で小学生と中学生が学習しています。その学習をサポートしている3人のボランティアに話を聞きました。

サポーターを始めたきっかけは:

「外国人の受験生が困っていることを知ったので」

「宿題教室で勉強嫌いの子どもを見たとき」

「外国の子どもたちが授業で使うことばを知らないことに気づいた」

こころがけていることは:

「子どもの良い点をほめて、やる気にさせる」

「1対1で子どもと向き合い、話を聞いてあげる」

「子どものペースに合わせて丁寧に教え、あきらめない」

「勉強を楽しみにやってくる子どもに教材をたくさん用意する」

やっていてよかったと思うときは:

「テストで良い点をとった!と笑顔で報告する」

「家で勉強をしなかった子が宿題をきちんとやってくるようになった」

「意識が変わって明るく前向きになった」

「教えたことを理解したら休まずがんばるようになった」子どもたちを見たときだそうです。

学習支援教室では、親切に教えてくれるサポーターや笑顔の窓口スタッフに会えます。外国につながる子どもたちのだいじな「居場所」です。



交流部会だより

2020年11月28日に「鶴見の中の韓国・朝鮮を訪ねる」街歩きをしました。参加者は日本人18人、外国人1人でした。

JR鶴見駅の鶴見線のホームでは大時計を見ました。1959年に朝鮮民主主義人民共和国へ帰国する方々から贈られたものです。鶴見の人々へ感謝の気持ちを表し、プレートには「皆さん、お元気で」と刻まれています。

次に鶴見朝鮮初級学校付属幼稚園を訪ねました。朝鮮半島の言葉や文化を伝える教育に熱心に取り組んでいる話を聞きました。

最後に東漸寺にある大川常吉の顕彰碑を見ました。大川常吉は関東大震災の後に朝鮮人が殺されそうになった時、300人以上の命を救った鶴見警察署長です。

鶴見と韓国・朝鮮との関係を知り、人と人との心のつながりは大切なことだと考える機会となりました。



おしゃべり会

いろいろな国の人と日本語で話しませんか

日本語を話すチャンスです。おみやげもありますよ!

日時: 2021年3月3日(水曜日) 13:30~15:00 参加費: 無料

申込み: 鶴見国際交流ラウンジ 電話: 045-511-5311

※中止になる場合があります。申し込みの時に連絡できる電話番号を教えてください。

